

Academic Course

普通科 特進コース



HP^GO!

惺山高等学校

卒業生の活躍



理学療法士
(国立病院機構 北海道医療センター勤務)
大又優希さん(2018年3月卒業)

私は現在、札幌市内の病院で理学療法士の仕事をしています。

勤務する病院は病床数600を超え、救急搬送の患者さんもいらっしゃるため、対応は多岐に及びます。現在はその中で循環器病棟と呼吸器病棟のリハビリテーションを担当しています。

「呼吸器や循環器」と「リハビリ」はつながらないイメージがあるかもしれませんが、例えば肺がんで入院した患者さんの術後の体力回復の手助けをしたり、呼吸する力が弱まっている患者さんと呼吸訓練を行ったりと、患者

さんが1日も早く元の生活に戻るためのケアを行うことが仕事です。

高校時代はバドミントン部に所属し、インターハイにも出場しました。悩んだこともたくさんありましたが、それを越えたことが現在の考え方のベースにつながり、仕事でも活かされていると感じています。

北海道は魚がおいしくて、仕事の息抜きも兼ねて毎日料理をちゃんと作って食べています。

修学旅行で来ることがあったら、ぜひ魚を食べてください!

卒業後の進路

大学 山形大学・山形県立保健医療大学・米沢栄養大学・新潟大学・秋田大学・茨城大学・琉球大学 他

SEIZAN みらいチャレンジα

奨学生
募集中

2022年4月、高等学校の学習指導要領が大きく改訂され、新しいカリキュラムのもとで「主体的・対話的で深い学び」を求めた学習活動が始まりました。

これまでとは異なる学び——自らを知り、自ら考え、自ら学ぶこと、周囲とつながり共有することでより深い学びを築くこと——が求められているのです。

このような時代に学校で学ぶことの意義を再検証し、これからのみらいにふさわしい学びを提供しよう、そして新たな学びを造りあげようという取り組みが、本校の「みらいプロジェクト」です。

新しい学びのキーになるのは「つながり」です。2019年度入学生から完全導入した「GoogleChromebook」は、授業はもちろんのこと、ホームルーム、部活動、行事やイベントといった学校生活の様々な場面で、人と人との、学びと学びとをつなぎ、より大きな学びを生み出してくれます。

2022年4月、本校は「惺山高等学校」として新たなスタートを切りました。本校独自のカリキュラムで、ともに学びをつないでいく仲間を募集します。条件は学ぶ意欲があること、主体的な学びを大切にできること、他人の学びを共有してさらに高い学びを追い求められることです。探究心を持って学べる仲間との出会いを今から心待ちにしています。

募集要項

- 出願資格
(1) 2023年3月中学校またはこれに準ずる学校を卒業見込みの者、および卒業した者。
(2) 「SEIZANみらいプロジェクト」の趣旨を理解し、本校普通科特進コースに第一志望で入学を希望する者。
(3) 3年次の5教科の評定合計16以上の者。
(4) 出願するものは「SEIZANみらいプロジェクト」を理解するために、本校オープンスクール(サマーチャレンジ・オータムチャレンジ・ファイナルチャレンジ)に必ず1回以上参加すること。
- 募集コースおよび特典
(1) 特進コース 最大20名 ※特進コースの定員の50%以内とします。
(2) 合格した場合、奨学生としての特典(授業料補助)を受けることができます。
- 出願手続(詳細は10月発行の本校「募集要項」に記載します)
2023年1月上旬
2022年12月18日(日)に事前エントリーを行い、学力検査用IDを発行します。
- 入学試験(詳細は10月発行の本校募集要項に記載します)
2023年1月中旬
Chromebookを使用した3教科(数学・英語・国語)の学力検査を行います。
- 奨学生制度
合格者に以下のいずれかの条件を付与します。
条件1: 入学金施設充実費免除。毎月28,900円までの授業料補助。
3教科で165点以上の方を対象とします。
条件2: 施設充実費免除。毎月15,000円までの授業料補助。
条件1の基準に達しなかった方を対象とします。

Ac

Academic Course

特進コース

みらいに輝け



SEIZAN
High School
2023

#みらいチャレンジα入試 #育成型特進コース #Qureous

Academic Course

普通科 特進コース

私がつくる、私のまなび

『自分の未来を、自分の手で創り上げる』

— VISION DRIVEN — SEIZAN みらいプロジェクト

新しい大学入試では、自分が何を学びたいか、そのためにこれまでどのような経験をしてきたのかが問われます。知識だけでなく経験が、経験だけでなく経験を知識に変えるプロセスが、そして、獲得した知識を運用できる能力が求められています。

自分だけで学ぶのではなく、他者との関わりの中で学び、自らの学びを他者に伝えていくことが、学びをより実りあるものに変えてくれるはずです。



アカデミック・ツールで学びをさらに深化

～自由で最適な学びを手に入れ、実りある学びを～

- ✓世界中の講師とリアルタイムでつながり、生きた英語を学べるオンライン英会話
- ✓学校独自のルーブリックをもとに自己を再評価するe-ポートフォリオ
- ✓AIを搭載した数英ラーニングシステム・Qureous(河合塾)
- ✓好きなことを学びにするための進路探求授業
- ✓仲間との共同作業で作成するレポート



Voice 生徒の声



山口 謙眞(蔵王一中)

私は将来、IT関係の職に就きたいと考え、県内では一番のICT先進校である惺山高校に入学を決めました。そして将来のことを考え、受験学力を向上させていくため、特進コースを選択しました。勉強が得意ではない私でも、学習と真剣に向き合い目標を達成できるための環境が整っていると感じています。また、Chromebookを活用し、自ら学びの幅を広げたり学ぶ姿勢を築いたり楽しく学習ができています。授業では、先生方が一人一人丁寧に向き合ってくれるので非常に学習に取り組みやすいです。同じ目標を持っている仲間と話し合いながら様々な問題を解決し、みんなで成長できるように日々頑張っています。

「塾に通わなくても受験で勝ち切る力を身につける進路希望別指導」

7校時授業や土曜講座を継続して実施することで学習と向き合う時間をしっかり確保し基礎学力の定着を図っています。

各教科の学習サポートも充実しており、一人ひとりの進路目標に向けた受験対策ができます。



育成型特進コース

教科の学びを土台として、身近な課題や興味関心をテーマに答えを追求する「探究」。そこには必ずしも「答え」があるとは限りません。正解のない課題に立ち向かうことが主体的な学びに繋がり、学ぶことの本当の意味が感じられます。学ぶ楽しさと知る喜びが、自らを成長させる――教科の知識と探究により、進路を切り拓く力を育成します

